

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

特別会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	緊急通報システム事業				シート番号	011-055
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進	課 評価責任者(課長名)
						阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 9 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市高齢者緊急通報システム事業実施要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成9年度から事業開始。 平成16年度までは、国の在宅福祉国庫補助金の対象事業であったが、平成17年度に補助金が交付税化。 平成25年度から事業の一部を介護保険法の地域支援事業で実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市の区域内に住所を有するおおむね65歳以上の病弱等のひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	緊急事態への迅速な対応によって、高齢者の不安感を解消し、高齢者の在宅生活を支える。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	高齢者等宅に緊急通報装置を設置する。 緊急ボタンを押すと消防局に通報され急病等に対応し、相談ボタンを押すと委託業者に通報され健康面の相談等ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先	大阪ガスセキュリティサービス株式会社					

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	59,861	60,592	58,335	62,188	60,511	59,400	59,942	
	主な事業費内訳	委託料	千円	45,366	44,890	45,599	45,598	47,291	45,738	46,473
		装置購入費	千円	14,395	15,649	12,636	16,536	13,120	13,566	13,301
		その他	千円	100	53	100	54	100	96	168
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円	20,328	20,149	20,349	20,337	21,190	20,565	21,038
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他(被保険者保険料・徴収金)	千円	8,584	7,578	8,819	8,955	9,235	9,021	9,243
		一般財源	千円	30,949	32,865	29,167	32,896	30,086	29,814	29,661
	12	人件費 (b)	千円	3,140	3,140	3,140	3,140	3,110	3,110	3,160
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	63,001	63,732	61,475	65,328	63,621	62,510	63,102	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	緊急通報システム事業	シート番号	011-055
-------	------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	<p>各区役所地域福祉課にて申請を受け付け、一人暮らし高齢者等の自宅に緊急通報装置を設置した。装置には二カ所ボタンがあり、緊急ボタンを押すと消防局に通報され急病等に対応し、相談ボタンを押すと委託業者のナースコールセンターに通報され健康面の相談等ができるようになっており、緊急時に迅速かつ適切な対応を図っている。</p> <p>対象者は下記の通りである。 ①おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者、又は高齢者のみの世帯の方。 ②昼間または夜間に独居(同居家族が就労・就学等のために日中または夜間の大半において不在)となるおおむね65歳以上の高齢者。</p> <p>設置費用について、所得税非課税世帯の方は無料、課税世帯の方は設置時に8,400円の自己負担金を徴収している。 また、上記対象者②の方は32,000円(所得税課税世帯の方は40,400円)の自己負担金を徴収している。</p> <p>令和元年度は3,911件の相談を受け、新たに481件の装置を設置した結果、設置延べ件数4,865件となった。</p>							
	14	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		相談通報件数	件	目標値	-	-	-	-
				実績値	4,303	4,264	3,911	-
				達成率	-	-	-	-
	評価			-	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		あらかじめ目標を設定する性質ではないため、実績として相談通報件数を計上している。					
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		設置件数	件	目標値	-	-	-	-
				実績値	5,237	5,083	4,865	-
				達成率	-	-	-	-
	評価			-	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		あらかじめ目標を設定する性質ではないため、実績として設置数を計上している。					

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	相談通報件数	件	4,303	4,264	3,911
	②	上記①にかかる年間経費	千円	34,390	35,162	35,550
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	7,992	8,246	9,090
備考(算出についての説明等)						
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①	設置件数	件	5,237	5,083	4,865
	②	上記①にかかる年間経費	千円	26,150	26,972	23,754
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,993	5,306	4,883
備考(算出についての説明等) 装置購入費、委託料(機器維持管理料)						

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)	
19	一人暮らしの高齢者宅等に緊急通報装置を設置することにより、急病等の緊急時に消防局の119番に直通で入電できるため、迅速に対応することが可能となっている。また、相談ボタンを押すと委託会社のナースコールセンターに繋がり、看護師や保健師等に健康面の相談をすることができるため、高齢者の健康面等の不安を解消し、在宅生活を支えることにつながっている。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	緊急通報システム事業	シート番号	011-055
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 緊急事態への迅速な対応によって、高齢者の不安感を解消し、高齢者の在宅生活を支えることが難しくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 緊急事態への迅速な対応によって、高齢者の不安感を解消し、高齢者の在宅生活を支えることが難しくなる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 一人暮らしの高齢者世帯又は高齢者のみの世帯等、地域や別居家族から目が届きにくい高齢者世帯の増加により、緊急時の迅速な対応等、高齢者世帯の安全確保が求められるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 緊急ボタンを押すと消防局に通報され急病等に対応し、相談ボタンを押すと委託業者に通報され健康面の相談等ができるなど、電話対応にて高齢者の健康面等の不安を解消し、また、設置工事の際は十分に換気を行い短時間で取り組むなど、新しい生活様式で事業を行うための対策を講じているため。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 協力員として、市民の方を登録し、緊急時等に協力してもらっている。消防局及び委託業者と連携を図り実施しており、他の手段・方法等はない。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 設置件数が横ばいのため、システムを必要としている方で未利用の方に対して、広く周知を行っていく。		